

～鹿児島県のシンボル～

県章



鹿児島県の地形を
図案化したもので、
中央の円は火の島
「桜島」を表していま
す。これは、鹿児島
県の雄大な自然、県
民の情熱、融和、団
結と伸びゆく鹿児島
県を象徴するもので
す。(昭和42年制
定)

県の花「ミヤマキリシマ」



九州に自生
するツツジ科
の花で、本県
でも霧島山系
一帯を中心に
自生し、初夏
の山々を鮮や
かに彩ります。
(昭和29年指
定)

シンボルマーク



鹿児島県の豊かな
自然や新たな息吹
を象徴する「風」と
「波」をモチーフにし
て、鹿児島県の頭文
字「K」を表したデザ
インで、未来をめざ
す、躍動的な鹿児島
県の姿を表現してい
ます。(平成6年制
定)

県の木「クスノキ」



鹿児島と歴
史的につなが
りの深い樹木
で県内に広く
群生しており、
特に樹齢1,50
0年といわれる
蒲生町や志布
志町の大クス
は有名です。
(昭和45年指
定)

県の鳥「ルリカケス」



奄美大島のみに生息する、るり色の羽毛が美しいカラス科の非常に珍しい鳥で、国の天然記念物に指定されています。(昭和40年指定)

県の木「カイコウズ」



南米原産ですが、早くから鹿児島県に入ってきていました。緑の葉と赤い花弁が鮮やかなコントラストをみせ、本県の気候や風土に良く合って育ちやすく、いかにも南国的な感じの木です。(昭和41年指定)